

作成日 2023年 9月 27日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

化学品の名称	4-メチルピペリジン 4-Methylpiperidine
製品名	4-メチルピペリジン
製品コード	F-017981
SDS整理番号	ZC23030-01
会社名称	善ケミカル株式会社
住所	東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階
電話番号	03-3839-5861
FAX番号	03-3839-5877
緊急連絡電話番号	03-3839-5861
推奨用途および使用上の制限	医薬・農薬・ゴム薬品原料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分4 区分2 区分2A
環境に対する有害性		該当区分なし

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体および蒸気
H302 飲み込むと有害
H315 皮膚刺激
H319 強い眼刺激

注意書き

【安全対策】

P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地しアースを取ること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P264 取扱後は手や顔をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

P301+P312 飲み込んだ場合: ただちに医師に連絡すること。
P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水や石けんで洗うこと。
P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合: ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P330 口をすすぐこと。
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

- P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 P370+P378 火災の場合: 消火するために粉末消火剤、泡消火剤、大量の水や二酸化炭素を使用すること。
 【保管】
 P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 【廃棄】
 P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

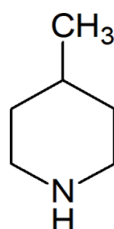
3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別
 化学名または一般名

慣用名または別名
 CAS番号
 分子式 (分子量)

単一物質
 4-メチルピペリジン
 4-Methylpiperidine
 4-ピペコリン、 γ -Pipecoline
 626-58-4
 $C_6H_{13}N$ (99.17)

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲
 官報公示整理番号

98.50%以上

化審法: (5)-768
 安衛法: 既存

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

ただちに医師に連絡すること。
 ただちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、または取り去ること。
 皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。

眼に入った場合

ただちに医師に連絡すること。
 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

ただちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

口をすすぐこと。
 ただちに医師に連絡すること。
 適切な保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、泡消火剤、大量の水、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

特になし

火災時の特有の危険有害性

燃焼や高温により分解し、有毒なヒュームを発生するおそれがあるので注意すること。

特有の消火方法

消火作業は風上の安全な地点から行き、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。

消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置

関係者以外は安全な場所に退去させること。
 周辺火災時、容器に水を噴霧して冷却すること。
 安全に対処できるならば着火源を除去すること。
 消火作業の際は、必ず保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

個人用保護具を着用すること。
 漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させること。
 十分に換気を行うこと。
 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。

環境に対する注意事項

製品が排水路に排出されないよう注意すること。
 乾燥砂、不燃性吸収剤などに吸収させて密閉できる容器に回収すること。
 大量の流出には盛土で囲って流出を防止すること。

封じ込めおよび浄化の方法および機材

二次災害の防止策

付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分すること。
 付近の着火源、高温体などを速やかに取り除くこと。
 着火した場合に備えて消火用器材を準備すること。
 火花を発生しない安全な用具を使用すること。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱いは換気のよい場所で行うこと。
 適切な保護具を着用すること。
 漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させないこと。
 熱、火花、裸火、高温体などの着火源から遠ざけること。禁煙。
 静電気対策を行うこと。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
 取扱い後は手や顔などをよく洗うこと。
 できれば、密閉系で取扱うこと。
 蒸気やエアゾールが発生する場合には、換気、局所排気を用いること。
 皮膚、眼および衣類との接触を避けること。

注意事項

保管

安全な保管条件

容器を密栓して換気の良い冷暗所に保管すること。
 不活性ガスを充填すること。
 酸化剤などの混触危険物質から離して保管すること。
 法令の定めるところに従うこと。

安全な容器包装材料

8. ばく露防止および保護措置

管理濃度
設備対策

設定されていない。
 ばく露を防止するため、装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具

取扱い場所の近くに洗眼および身体洗浄用の設備を設けること。

手の保護具

防毒マスク、簡易防毒マスク等。

眼、顔面の保護具

保護手袋

保護眼鏡。状況に応じ保護面。

皮膚および身体の保護具

保護衣。状況に応じ、保護長靴。

9. 物理的および化学的性質

物理状態

液体

形状

透明

色

無色 ~ わずかにうすい黄

臭い

情報なし

融点/凝固点

情報なし

沸点または初留点および沸点範囲

127℃

可燃性

情報なし

爆発下限界および爆発上限界/可燃限界

情報なし

引火点

9℃

自然発火点

情報なし

分解温度

情報なし

pH

情報なし

動粘性率

情報なし

溶解度

[水]

混和

[その他の溶剤]

情報なし

可溶:

情報なし

n-オクタノール/水分配係数(log値)

情報なし

蒸気圧

情報なし

密度および/または相対密度(g/ml)

0.84

相対ガス密度

情報なし

粒子特性

情報なし

10. 安定性および反応性

反応性

蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。

化学的安定性

適切な条件下においては安定。

危険有害反応可能性

特別な反応性は報告されていない。

避けるべき条件

火花、裸火、静電放電

混触危険物質

酸化剤、酸

危険有害な分解生成物

二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	経口	情報なし
	経皮	情報なし
	吸入: ガス	情報なし
	吸入: 蒸気	情報なし
	吸入: 粉じん および ミスト	情報なし
皮膚腐食性/刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		情報なし
呼吸器感作性		情報なし
皮膚感作性		情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		情報なし
生殖毒性		情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		情報なし
誤えん有害性		情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性		
魚類		情報なし
甲殻類		情報なし
藻類		情報なし
残留性・分解性		情報なし
生物蓄積性(BCF)		情報なし
土壤中の移動性		
	n-オクタノール・水分配係数	情報なし
	土壤吸着係数(Koc)	情報なし
	ヘンリー定数(PaM ³ /mol)	情報なし
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 引火性が高いため十分注意すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。</p>
汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報	<p>容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

14. 輸送上の注意

国際規制													
	<table> <tr> <td>国連番号</td> <td>1993</td> </tr> <tr> <td>国連輸送名</td> <td>Flammable liquid, n.o.s.</td> </tr> <tr> <td>国連分類</td> <td>クラス3(引火性液体)</td> </tr> <tr> <td>副次危険性等級</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>容器等級</td> <td>II</td> </tr> <tr> <td>海洋汚染物質</td> <td>非該当</td> </tr> </table>	国連番号	1993	国連輸送名	Flammable liquid, n.o.s.	国連分類	クラス3(引火性液体)	副次危険性等級	8	容器等級	II	海洋汚染物質	非該当
国連番号	1993												
国連輸送名	Flammable liquid, n.o.s.												
国連分類	クラス3(引火性液体)												
副次危険性等級	8												
容器等級	II												
海洋汚染物質	非該当												
輸送または輸送手段に関する特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。												
緊急時応急措置指針番号	128												

15. 適用法令

労働安全衛生法	危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)
消防法	第4類引火性液体、第一石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1・第4類)
航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
船舶安全法	引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・引火性液体類(法第20条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
道路法	車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

主な参考文献

webデータベース "ezADVANCE"(2023/09/26 アクセス)
ウェブサイト "PubChem"(2023/09/26 アクセス)
安全データシート "4-Methylpiperidine", 東京化成工業株式会社
2022/03/20 改訂版
安全データシート "4-Methylpiperidine", Sigma-Aldrich
2023/08/17 改訂版
SAFETY DATA SHEET (4-Methylpiperidine), Jubilant
Ingrevia Limited, Revised on 2021/02/19

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年 9月 27日 作成